

## 第2次上山市子ども読書活動推進計画

～本との出会い、知る楽しさ、豊かな心をはぐくむ読書～

令和2年3月

上山市教育委員会

## 目 次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 第1章 計画策定の趣旨                 | 1  |
| 1 計画策定の背景                   | 1  |
| 2 国及び山形県の動向                 | 2  |
| 第2章 基本的な考え方                 | 3  |
| 1 計画の目的                     | 3  |
| 2 計画の位置付け                   | 3  |
| 3 計画の基本方針                   | 3  |
| 4 計画の対象                     | 3  |
| 5 関係機関の連携・協力と推進体制の整備充実      | 3  |
| 6 計画の期間                     | 3  |
| 第3章 具体的な取組                  | 4  |
| 1 家庭における子どもの読書活動の推進         | 4  |
| 2 保育園・認定こども園における子どもの読書活動の推進 | 5  |
| 3 小・中学校における子どもの読書活動の推進      | 6  |
| 4 地域における子どもの読書活動の推進         | 9  |
| 5 今後の推進体制と見通し               | 11 |
| 第4章 実践事例                    | 12 |

## 第1章 計画策定の趣旨

### 1 計画策定の背景

子どもたちを取り巻く生活環境の変化は、子どもたちの成長に大きな影響を与えています。近年、インターネットやスマートフォン・携帯電話など多様な情報メディアの進化・普及に伴い、子どもたちの生活時間に占めるそれらの接触時間が増加し、電子メディアを介した事件の発生などさまざまな問題が顕在化する一方、子どもたちの「読書離れ」や「活字離れ」が指摘されています。

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないもの」（子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第2条）とされており、社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要です。

本市においては、平成25年1月に「上山市子ども読書活動推進計画」を策定し、関係機関において各種事業を推進してきました。

第2次計画では、これまでの取組の成果と課題を検証し、一定の成果が得られたこれまでの計画を継承しながら、今後新たに取り組むべき施策を加え、計画の策定を行います。

### 2 国及び山形県の動向

#### （1） 国の動向

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、平成14年8月には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されました。

同法律においては、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務などを明らかにするとともに、国が「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定・公表すること、地方公共団体が「子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画」を策定・公表すること、4月23日を「子ども読書の日」とすること等が規定されました。

その後国は、同法律第8条第1項の規定に基づき、おおむね5年にわたる子どもの読書活動推進に関する基本方針と具体的方策を規定する基本的な計画（第一次：平成14年～、第二次：平成20年～、第三次：平成25年～、第四次：平成30年～）を定め、施策の総合的かつ計画的な推進を図ってきました。

また、学習指導要領においては、「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るとされており、情報活用能力の育成は重要な一つの観点となっています。このような中、国は「教育の情報化」による施策のもと、学習環境や指導内容の整備・充実を推進してきました。

## (2) 山形県の動向

山形県教育委員会は、平成16年3月に策定した「第5次山形県教育振興計画」に示す「本が好きな子ども」の育成を目指して、平成18年2月に「山形県子ども読書活動推進計画」を策定しました。その後、平成23年12月には「山形県子ども読書活動推進計画（第2次）」を策定し、計画期間の5年間で、「生きる力」を育む読書活動のための取組を推進してきました。

第2次県計画においては、第1次計画の成果を受け、本が好きな子どもを一人でも増やすとともに、読書が子どもたちの生活の中に根付くよう、読書を通して、感性を磨き、豊かな想像力や思いやりの心をはぐくみ、幅広い人間性を養う「読育（どくいく）」を推進してきました。

また、平成29年4月には「山形県子ども読書活動推進計画（第3次）」を策定し、「第6次山形県教育振興計画」のもと、次の三つの柱を基本方針とし、県内における子どもの読書活動を推進するため、家庭、学校、地域において、今後期待される活動や取り組むべき方向性を示しました。

- ・家庭・地域・学校を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進
- ・子どもが読書に親しむ機会の提供と施設、設備その他諸条件の整備・充実
- ・子どもの読書活動に関する理解と意義の普及

## 第2章 基本的な考え方

### 1 計画の目的

一人ひとりの子どもが自主的に読書に親しみ、読書習慣を身に付けることができる環境づくりを目指し、施策を総合的に推進するため、本計画を策定します。

### 2 計画の位置付け

本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律第8条第1項の規定に基づき策定された国の基本的な計画、及び同法律第9条第1項の規定に基づき策定された山形県の計画を基本とし、同法律第9条第2項の規定に基づき策定します。

また、本市の第7次振興計画、他の関連する計画との整合性の下、市全体の連携を図りながら、「子どもの読書活動」を対象とする計画として策定します。

### 3 計画の基本方針

- (1) 子どもの読書に関する理解の促進
- (2) 子どもが読書に親しむ機会の創出
- (3) 子どもの読書環境の整備・充実
- (4) 子どもの読書のための連携・協力

### 4 計画の対象

本計画の対象は、主に0歳からおおむね18歳までの子どもとします。

また、本計画では、施策や具体的な取組について、乳幼児から15歳までを重点的な対象とします。これは、この年齢の子どもに対する取組が読書習慣の形成に大きく影響を与えると捉えているためです。

子どもの読書環境の整備には、何より保護者や保育士、教職員など日々子どもに接する大人の関わりが大切です。取組の主体は、大人を含む全ての市民とします。

### 5 関係機関の連携・協力と推進体制の整備充実

子どもの読書活動を推進していくためには、家庭、保育園、認定こども園、学校、地域、関係機関等、子どもたちに関わる全ての人たちが、子どもの豊かな成長を願い、緊密に連携していくことが重要です。

この考え方に基づき、上山市子ども読書活動推進協議会を組織し、読書環境の整備、読書活動の支援策等について協議し、本計画を推進します。

### 6 計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5年間とします。なお、毎年計画の進捗状況を確認し、必要に応じ見直しを図ります。

### 第3章 具体的な取組

#### 1 家庭における子どもの読書活動の推進

##### 【現状と課題】

平成30年度に市内の小・中学生に行ったアンケート調査によると、児童生徒が1か月に読んだ本の数は、小学生で「10冊以上（39.4%）」が最も多く、次いで「3～5冊（27.1%）」「6～9冊（21.1%）」となり、「0冊」は1.9%となっています。一方、中学生では、「1冊（44.7%）」が最も多く、次いで「3～5冊（28.1%）」となり、「0冊」は20.0%となっています。「0冊」と答えた生徒については、本計画策定前の調査に比べ、半減していることが成果としてあげられます（前回調査40.9%）。

また、同調査において、小さい時に家の人に本を読んでもらったかを調べたところ、「よく読んでもらった（48.0%）」「時々読んでもらった（33.3%）」「あまり読んでもらわなかった（12.1%）」「全く読んでもらわなかった（6.5%）」となっており、よく読んでもらった子どもが前回調査に比べて増えたことが分かります（前回調査41.1%）。一方で、全く読んでもらわなかった子どもが6.5%と微増していることが課題としてあげられます（前回調査5.2%）。

子どもの読書習慣は日常の生活を通して身に付きます。読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われるよう、家庭での読書活動の習慣化に向け、積極的に取り組むことが大切です。家庭で子どもが本に出会い、本に親しむきっかけを作り、読書に対する興味や関心を高めることができるよう、大人から本を読む姿勢を見せ、家庭において読書が身近に感じられる環境をつくっていくことが重要です。

##### 【施策】

子どもが本と出会い親しむ環境をつくるには、大人が積極的に関わり、家族ぐるみで読書活動に取り組むことが必要です。とりわけ、乳幼児期からの読み聞かせは、読書習慣の形成に重要な意味を持つだけでなく、子どもの心身の発達、親子の絆を深める上でも大きな影響を与えます。

また、保護者自身も読書に楽しみ、子どもの読書に関わっていくことも大切です。家庭での読み聞かせのきっかけづくりと、その継続への支援に行政として取り組みます。

##### 【今後の具体的な取組】

#### （1） 図書館におけるマタニティブックスタート事業の継続実施

これから出産を迎える方や、その家族に対し、子どもの読書や読み聞かせについての講座を開催し、子どもの読書習慣の大切さについての意識を高めます。

#### （2） 乳幼児への読み聞かせの啓発と実践

赤ちゃんと一緒に絵本を開く楽しさと、心を触れ合うひと時を持つ大切さを、乳幼児健診等の際に啓発します。また、人の声の温もりを感じながら絵本に親しむかけがえのない体験として、読み聞かせを勧めます。

毎週土曜日に市立図書館において開催される読み聞かせや市総合子どもセンター「めんごりあ」（以下「めんごりあ」という。）で行う読み聞かせなど、多様な読み聞かせの場を用意します。その際、読み聞かせのための絵本の紹介や、読書に関わる相談等に応じます。

（３） 家庭における読書の推進

P T A、学校と連携し、「家庭読書推進キャンペーン」として、「毎月第３日曜日の週は『家庭読書週間』」の推進、また、家庭読書週間には「家族と（市立）図書館に行こう」「親子読書」「家族と書店に行こう」等の取組を推進します。

（４） 身近に本がある環境づくりの推進

市立図書館を積極的に利用してもらい、家庭では、本をいつでも子どもの目に触れ、手の届くところに置いてもらうなど、本が身近にある環境を整えてもらうよう周知に努めます。

## ２ 保育園・認定こども園における子どもの読書活動の推進

### 【現状と課題】

子どもたちが絵本に親しむことができるよう、絵本の紹介コーナーや専用の部屋を設置し、大型絵本を始め様々なジャンルの絵本をそろえ、様々なシチュエーションの中で読み聞かせを取り入れるなどしています。

読書活動を更に進めるためには、蔵書や施設の充実のほか、幼児期における読み聞かせの重要性の認識、普及啓発を図ることが大切です。

### 【施策】

保育士や幼稚園教諭等が、読書活動や読み聞かせの研修会への参加を通して、より良い読み聞かせの方法等を習得し、園における読み聞かせの時間に活用するとともに、図書館、めんごりあと連携し、子どもたちが多様な本に出会える環境づくりを目指します。

また、幼児期における読み聞かせの重要性について、保護者と情報共有を図ります。

### 【今後の具体的な取組】

- （１） 保育士及び幼稚園教諭は、読み聞かせや読書指導などの研修に積極的に参加し、子どもたちの感性の醸成に繋がるより良い読み聞かせの方法等について、学び活用します。
- （２） 子どもたちが楽しめ、豊かな感性の醸成に繋がるよう、発達段階に適した読み聞かせに積極的に取り組みます。
- （３） 保育園、認定こども園及び「めんごりあ」においては、市立図書館の豊富な図書を団体貸出で活用し、読書活動を推進します。

- (4) 絵本の紹介をはじめとして、幼児期における本との出会い、読み聞かせの大切さなどについて園だより等により保護者に周知するほか、各種行事等に合わせ情報提供を行い、普及啓発を図ります。

### 3 小・中学校における子どもの読書活動の推進

#### 【現状と課題】

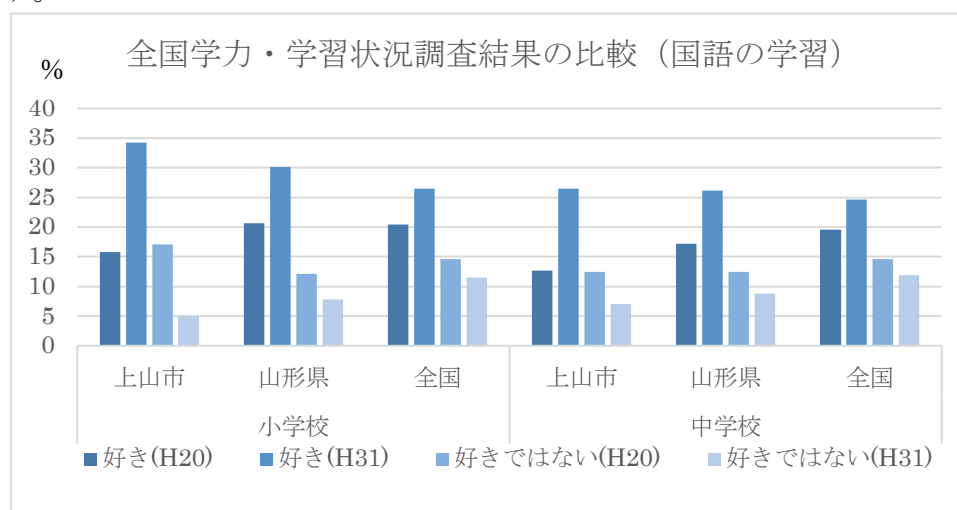
小・中学校においては、図書館教育の全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通して子どもたちの読書活動の推進を図っています。全体計画では、図書館教育の目標、図書館経営の方針、年度の重点を定めるとともに、年間の活動計画や図書館環境整備計画を示しています。

読書活動を推進するため、全ての学校で朝読書に取り組んできたほか、読書意欲を喚起するため、年間の目標冊数や目標ページを示したり、学級文庫、学年図書コーナーを設置したりして、保護者などボランティアによる読み聞かせを実施したりしてきました（実践例6参照）。また、「図書室の約束」など学校図書館利用のきまりを作り、子どもたちが主体的に、日常的に読書活動に取り組むことができるようにしています。

その成果として、平成31年度の全国学力・学習状況調査結果から、読書が好きではないという子どもの割合が小学生（3.0%）・中学生（9.5%）ともに、山形県（小学生5.9%・中学生10.5%）や全国（小学生8.3%・中学生12.8%）と比べて低いことがあげられます。

国語科においては、学年の発達段階に応じて、年間指導計画に位置付けた読書指導を実施しています。各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動（学級活動）においても、読書活動との関連を重視した年間指導計画を作成し、基礎基本の定着と活用能力の育成とともに、子どもたちの主体的な学びを促すことを目指しています（実践例5参照）。

平成20年度及び平成31年度の全国学力・学習状況調査結果を比較すると、次のようになります。



国語の学習が好きという子どもの割合が小・中学校ともに大きく増え、好きではないと

いう子どもの割合が小・中学校ともに減っていることは、日頃の国語の授業改善の成果が表れているといえます（グラフ参照）。

本市では全ての学校が「学校図書館図書標準」を達成し、図書の整備を進めてきています。規模の大きな学校には「学校司書」を配置し、図書主任と連携を図りながら学校図書館の整備と管理、読書活動に当たっています。

平成30年度に上山市内の小・中学生に行ったアンケート調査では、学校図書館の本を読んだり借りたりする児童・生徒の割合が87.7%（前回調査71.2%）となっており、これまでの取組の成果が表れていることが分かります。

### 【施策】

学校の教育活動全体を通して、読書活動が多様に、豊かに行われるようにします。そのため、国語科における読むことの基本的な指導の下、読書指導、図書館利用指導を充実させるとともに、全校一斉読書や各教科における読書活動等が計画的に行われるよう、各学校の実践例を収集し、普及を図ります。

また、児童・生徒が知る楽しさや豊かな心をはぐくむ読書ができるよう、学校図書館の蔵書の充実、整備に努めます。そのため、引き続き学校司書を配置し、図書館の整備と図書の整理に当たるとともに、児童生徒の読書活動を支援します。

### 【今後の具体的な取組】

#### （1） 教育活動全体を通した読書活動の展開

##### ア 全校一斉読書の推進

全ての学校で行っている全校一斉読書を継続するとともに、一斉読書の実施方法について実践例を紹介し合う場を作ります。一斉読書は本を自分で選ぶ、黙って読むことを基本としますが、読み聞かせをしたり、ブックトークを取り入れたり、皆で同じ本を一斉に読むなど、多様な読書活動をさらに進めます。

本をいつも手にすることができる環境を整えることも大切です。学校図書館を充実し、いつでも利用できる体制を作ることや、学級文庫、学年図書コーナーの設置など、具体的な事例を紹介し、充実を図ります（実践例6参照）。

##### イ 「かみのやま人物記」の活用

高い学問の伝統と豊かな文化と自然を持つ本市には、たくさんの郷土の読み物や資料があります。その中の一つである「かみのやま人物記」は、産業・文化・政治などの分野で活躍し、多大な業績を残した歴史上の人物を子どもたちに広く紹介したものです。

「かみのやま人物記」を読書指導に活用し、理解を深めることで、郷土への愛着と誇りを持ち、また、自己の生き方を考え、未来に向かって夢の持てる子どもたちの育成を図ります。

##### ウ 児童会・生徒会活動による推進

各学校には、児童会活動や生徒会活動として図書委員会や学習委員会があり、それらの委員会では、全校生が本を読みたくなるような活動を行っています。学校図書館を利用する子どもたちが増えるよう、子どもたちの主体的な活動を中心に、司書教諭や学校司書と連携し、更なる委員会活動の推進を行います。

#### エ 市立図書館、家庭、地域との連携

各学校図書館の蔵書のほかに、市立図書館を活用することで、更に多くの資料を蔵書のように利用できるようになります。市立図書館の資料を学校への団体貸出により一斉読書等に活用できるようにします。

また、家庭読書週間には、「親子読書」「家族と市立図書館へ」等の取組により、家庭における読書環境の大切さを啓発するとともに、家族みんなの読書習慣形成の大切さについて、PTA活動を通じ保護者や地域に広めます（実践例4③参照）。

### （2）授業における読書指導の充実

#### ア 読書活動を取り入れた主体的な学習の展開

各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動（学級活動）において、読書活動が取り入れられるような学習を展開します。

国語科においては、物語や小説、説明的文章を的確に読み取ることができる能力を養うとともに、学校図書館や市立図書館等を利用し、子ども一人ひとりが自ら本を選んで読書活動を行い、身に付けた力を生かし、能力にまで高めることができるよう指導します。

その他の教科などにおいても、学んだことを生活と結び付けたり、新しい疑問や課題を解決したりするため、進んで読書活動を行うよう指導します（実践例5参照）。

#### イ 各教科などにおける計画的な読書活動の取り入れ

学年の発達段階に応じ、国語科の読書指導の段階も踏まえ、指導計画に読書活動を位置付けて指導します。また、各教科における参考図書の紹介に努めます。

### （3）学校図書館の整備

#### ア 読書環境の整備

自ら進んで読書に親しむ心豊かな子どもを育てるため、学校図書館において子ども達が読みたくなるような蔵書の充実や読書環境の整備に努めます。図書以外の新聞、雑誌、その他の資料についても、活用しやすいように展示を工夫するなどして魅力ある図書館づくりをめざします。また、郷土愛醸成のための新聞を配備し、新聞を活用した授業も行っていきます（実践例6①参照）。

#### イ 学校司書と図書主任の連携

学校司書と図書主任が連携を図りながら蔵書の点検、整理、除籍などを行うとともに、本の整備や読書指導が推進されるよう進めていきます。また、市立図書館司書との連携による研修の充実により、人材の育成を図ります（実践例6②参照）。

#### 4 地域における子どもの読書活動の推進

##### 【現状と課題】

16万冊以上の蔵書を持つ市立図書館は、子どもが多くの本と出会い、読書に楽しむことのできる場所です。児童図書は外国語も含め、3万冊以上があり、図書以外にも布絵本や遊具、視聴覚資料等を揃えるとともに、様々な催しを行い、子どもたちが来館しやすい環境を整え、魅力ある図書館づくりに努めています。

また、平成30年度に開館した「めんごりあ」への団体貸出や出張図書館を実施するなど、他機関と事業の連携を進め、新たな集客に努めています。

図書館貸出者数は、平成30年度実績では幼児及び小学生が2,626人、中学生及び高校生が629人で、割合として全体の13.5%であり、本市の年齢人口比率12.8%を上回ってはいるものの、決して多い数字とはいえません。また、児童書の年間貸出冊数は、約33,000冊で、全体の貸出総数の36.8%となっています。中高生の利用が伸び悩んでいることから、中高生の利用へつながるような取り組みを検討していく必要があります。

また、市立図書館では、読み聞かせやおはなし会等、多くの事業を開催しています。読み聞かせは、読み聞かせボランティア、上山明新館高等学校の生徒及び図書館司書により行われ、毎週土曜日に開催し定着が図られてきています。

さらに、グローバル化が進む中で幼児期から少しでも英語に関わることのできる環境を提供するため、平成30年11月からは、毎月第3土曜日に日本語・英語よみきかせを開催しています。これからは、時代や社会の変化に合わせ、新しい情報や利用者のニーズを把握し、図書館運営に反映していくことも必要と考えます。

また、市内であっても、市立図書館が居住している地区から遠く、子どもだけでは来館できない地区もあること、また、十分な図書資料を整備できない学校や施設もあることから、団体貸出を活用してもらうなど、市立図書館としてよりよい読書環境を提供していく必要があります。

市内全ての学校・公民館や福祉施設等においても図書館を身近に感じ、気軽に活用してもらえるような読書活動の取組を計画し、推進していくことも重要です。

(参考)

| 年 度     | 平成30年度（人）  |            |            |        | 平成29年度（人）  |            |            |        |
|---------|------------|------------|------------|--------|------------|------------|------------|--------|
|         | 貸出者<br>総 数 | 幼 児<br>小学生 | 中学生<br>高校生 | 一 般    | 貸出者<br>総 数 | 幼 児<br>小学生 | 中学生<br>高校生 | 一 般    |
| 貸 出 者 数 | 24,081     | 2,626      | 629        | 20,826 | 23,104     | 2,655      | 844        | 19,605 |

※貸出者数には団体貸出等は含まない。

| 年 度   | 平成30年度（点） |        |        | 平成29年度（点） |        |        |
|-------|-----------|--------|--------|-----------|--------|--------|
|       | 貸出総数      | うち児童書  | うち一般書  | 貸出総数      | うち児童書  | うち一般書  |
| 貸出資料数 | 90,322    | 33,242 | 49,403 | 84,683    | 29,278 | 47,816 |

※貸出資料総数には視聴覚資料等の全ての資料を含む。

## 【施策】

市立図書館をより一層身近なものにするため、家族と幼児、児童生徒が読書に親しみやすい環境づくりに取り組みます。

また、現在実施している学校図書館や公民館・福祉施設等への団体貸出をより多くの関係機関に利用してもらえるように普及推進を図ります。

## 【今後の具体的な取組】

### (1) 図書資料の充実と活用

- ア 子どもたちのための良書を収集し、魅力ある蔵書構成を構築し、使いやすい魅力ある図書館づくりに努めます。
- イ 乳幼児、児童生徒、障がいのある子どもなど、多様なニーズに応えるサービスができるよう、読書環境の整備充実に努めます。

### (2) 催しの開催

- ア 「子ども読書の日」や「読書週間」の行事をはじめ、多様な催しを開催し、子どもたちが楽しく参加しながら読書に親しむ機会を提供します。
- イ 日本語・英語よみきかせを開催し、幼児期から英語に親しめる環境を提供します。
- ウ 読書意欲を喚起する「テーマ展示」を充実するとともに、計画的に開催することで、図書館に来館する機会を増やします。

### (3) 読書活動推進ボランティアの育成と活動の推進及び読み聞かせ者の人材育成

- ア 図書館が子どもたちにとって親しみやすいものとなるよう、ボランティア（個人・団体）の活動を支援します。
- イ 読み聞かせを始めた方や保育士等を対象に読み聞かせ講座を開催し、読み聞かせ者の人材育成を推進します。

### (4) 職員の研修の充実

子どもたちがより豊かな読書活動ができるよう、研修に積極的に参加し、職員の資質や専門性の向上に努めます。

### (5) 読書感想文・感想画コンクールの実施

読書の動機付けや読書の楽しさを学ぶ機会として、読書感想文・感想画コンクールを継続して実施します。

### (6) 読書指導、読書活動啓発

子どもの読書に関する理解の促進と子どもが読書に親しむ機会を創出するため、これから出産を迎える方やその家族及び読み聞かせに興味・関心を持つ方を対象に、「子育て支援マタニティブックスタート講座」を継続して開催します。

(7) 市内小・中学校、児童施設との連携

ア 小学校の訪問を積極的に受け入れ、図書館をより身近に感じてもらうことにより、読書に対する関心と興味をもってもらおうきっかけとします。

イ 団体貸出によって各施設の図書資料の不足を補い、学習等に必要な図書や資料の提供を行うことにより、子どもたちの読書環境を豊かなものとします。また、市立図書館外での子どもの読書活動を支援します。

(8) 「めんごりあ」との連携

子育て支援連絡会を定期的を開催して情報の共有に努め、同じ建物内にあるという利点を生かしながら、「めんごりあ」利用者の参加が図られるようなイベントを企画・実施します。

## 5 今後の推進体制と見通し

策定された計画の実施に向け、上山市子ども読書活動推進協議会の協力を得ながら、市教育委員会と家庭、保育園、幼稚園、学校、地域、関係機関、団体等が連携し、読書環境の整備、読書活動の支援を推進していきます。

なお、計画の実施状況を判断する1つの指標として数値目標を設定し、毎年計画の進捗状況を幹事会で確認し、必要に応じ見直しを図ります。

### 《数値目標》

| 年度<br>項目                         |     | 平成31年度<br>(実践の値) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----------------------------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 子どもに週1回以上読み聞かせをする年長児の保護者の割合(%)   |     | ※63.7            | 65    | 70    | 75    | 80    | 85    |
| 児童生徒の一人年平均<br>貸出冊数(冊)            | 小学校 | 57               | 58    | 59    | 60    | 61    | 62    |
|                                  | 中学校 | 14               | 15    | 16    | 17    | 18    | 19    |
| 貸出者総数に対する18歳以下の貸出者数の割合(団体含まず)(%) |     | 15.8             | 16.3  | 16.8  | 17.3  | 17.7  | 18.2  |
| 貸出冊数合計に対する児童書数の割合(全ての資料、団体含む)(%) |     | 40.3             | 40.8  | 41.2  | 41.6  | 42.0  | 42.5  |

なお、平成31年度目標数値(※63.7%)は、平成30年度実施による第2期上山市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査による。

## 第4章 実践事例

### 実践例1：読み聞かせの取組

#### ① 絵本部屋・絵本紹介コーナーの設置【あい保育園等、かしのき幼稚園】

園児たちが、絵本に興味を持ち、楽しく絵本を手にとりできる環境づくりが大切であることから、絵本に係る環境整備を実施しています。

また、保育士による読み聞かせを遊びの時間やお昼寝前等に導入し、子どもたちが日常的に絵本に親しむことができる保育構成にしています。



■絵本部屋（あい保育園）

緩やかな螺旋階段を下りると、子どもの身長に合わせた本棚が横並びに広がっています。高い天井は虹をイメージしており、大きな縦長の窓からは明るい日差しが差し込みます。床はじゅうたんが敷かれており、座って本を読んだり、木の椅子も造りつけられており、じっくり絵本を楽しめる環境になっています。

#### ■紹介コーナー（かしのき幼稚園）

毎月、子どもたちにおすすめの絵本をえらんで展示。季節にあわせたり、はやっている遊びのイメージが膨らむように選ぶときもあります。11月は読書の秋として、年長児の保護者からおすすめの絵本を教えてもらい、紹介したりしています。



■お昼寝前の読み聞かせの様子（みなみ保育園）

遊びの時間の他に、お昼寝前にも絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。読み聞かせを通して、園児の想像力・思考力の育成に繋がっています。

また、活動的な保育時間の後に、読み聞かせを導入することで、気持ちを落ち着かせる、集中する等、気持ちの切替にも役立っています。

## 実践例 2：豊富で多様な図書を用意した環境構成

### ①図書の団体貸出利用の活用【市総合子どもセンターめんごりあ等】

図書館と連携し、豊富な蔵書を活用した保育園・幼稚園への団体貸出利用に加え、「めんごりあ」の学びの広場内に特設コーナーを設置。「めんごりあ」を利用するお子さんと保護者が、気軽に絵本に触れあい楽しめる環境を整備しています。

#### ■団体図書コーナー（めんごりあ）

市総合子どもセンターめんごりあと図書館が連携し、「めんごりあ」に特設コーナーを設置しています。  
読み聞かせもしており、たくさんの方に楽しく利用していただいています。

#### ■かしのき幼稚園（団体貸出利用）

主に大型絵本や紙芝居を借りていますが、同じ絵本でも、大型絵本でみると細やかな部分もよく見え、読み聞かせ時の子どもたちの反応も違います。紙芝居は園にないものが多くあります。

## 実践例 3：幼児期と本について保護者と話し合う場の設定

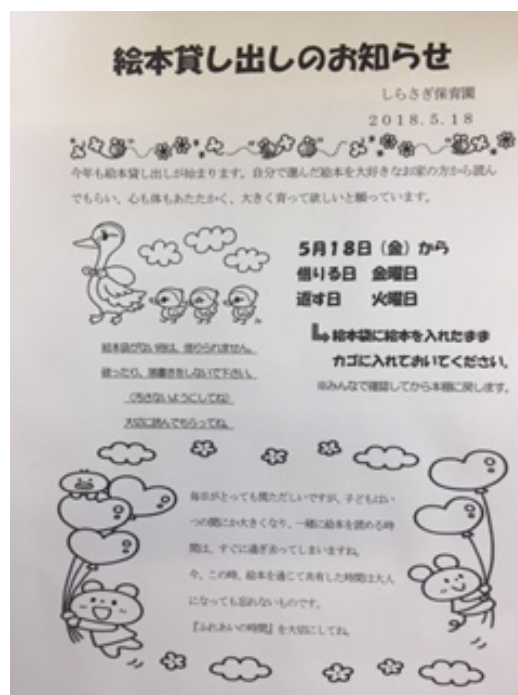
### ①園だよりで乳幼児期の絵本の読み聞かせの大切さについて情報提供

幼少期における読書活動を推進するため、蔵書・読書環境の充実のほか、保護者の方に幼少期における読み聞かせの重要性を認識していただくことが重要であることから、園だより等を通して普及啓発を図っています。

#### ■園だより（しらさぎ保育園）

週1回の絵本貸し出しについて園だよりで周知しています。

幼少期における読み聞かせの重要性のほか、絵本の読み聞かせを通した『親子のふれあいの時間』が幼少期において非常に大切であることを保護者に伝えていきます。



## 実践例 4：教育活動全体を通した読書活動の展開

### ① 教育課程に位置づけた取組

読書活動を充実させるためには、教科指導等も含めて計画的、継続的に読書活動に取り組むことが大切です。そのためには、子どもたちの実態に応じた「学校図書館活用年間計画」等を作成し、運用していくことが大切です。

#### 学校図書館教育全体計画

|                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標                                                          |
| 豊かな人間力を身につけ<br>地域とともに生きる子どもの育成<br>～知・徳・体が調和した感動と創造に満ちた教育実践を通して～ |

|                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校図書館重点目標                                                                                                                                                        |
| <p>上山市子ども読書活動推進計画をもとに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館に親しみ、読書の楽しさや喜びを味わわせ、豊かな心情を養う。</li> <li>・学校図書館の資料を効果的に利用し、自ら考え判断する主体的な学習態度を育てる。</li> </ul> |

| 各学年の重点目標             |                                |                                         |                                        |                                         |                                          |
|----------------------|--------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------------|
| 低学年                  |                                | 中学年                                     |                                        | 高学年                                     |                                          |
| 図書館利用の基礎的なことがわかる。    |                                | 図書館利用の仕方や調べ方がわかる。                       |                                        | 資料を活用するための方法を知り、利用できる。                  |                                          |
| 1年<br>本をたくさん<br>読もう。 | 2年<br>本の並び方を<br>知り、進んで<br>読もう。 | 3年<br>図書館の利用<br>の仕方がわか<br>り、本に親し<br>もう。 | 4年<br>自分の使いた<br>い資料を探せ<br>るようにしよ<br>う。 | 5年<br>図書館を学習<br>や生活に生か<br>せるようにし<br>よう。 | 6年<br>自分のめあて<br>に合う資料を<br>効果的に活用<br>しよう。 |

### ② 全校一斉読書の推進

各学校で読書週間を設けたり、期間を決めたりして、全校の子どもたちが一斉に読書に親しむ時間を過ごします。課題図書を設定したり、自由に本を持ち寄ったりしながら、読書に親しむ有意義な時間です。さらに新聞を活用し、天声人語の視写や要約をしたり、感想を書いたりしている学校もあります。



授業前の静寂な時間、好きな本を自由に読みます。新聞を活用した天声人語の視写は、15分で600字を書き上げます。集中力が付き、語彙が豊かになります。

### ③ 市立図書館、家庭、地域との連携

各学校と市立図書館とが連携することは、子どもたちの読書活動が充実するばかりでなく、学習活動に広がりや深まりを持たせることにもつながってきます。

上山市小学校長会では、一人でも多くの上山の子どもたちを「読書好きな子どもにすること」の願いのもと、上山市教育委員会及び上山市立図書館と連携し、平成26年度より市内小学校4年生の希望者に上山市立図書館貸出カードを配付しています。

よく小さいころから本に親しんでいる子どもは、読書習慣が自然と身に付くといわれています。そのようなことから、子どもたちが本に触れ合い読書を楽しむ機会を設けることは大切なことです。その時には教職員だけでなく、保護者や地域の方々の協力が不可欠です。



毎週木曜日の朝、保護者のボランティアの方が選んだ一冊を、各クラスで読み聞かせしてくれています。お母さんだけでなく、お父さんの参加者もあり、子どもたちも大喜び。



#### とんと昔の会

毎年3年生以上の学年に、上山に伝わる昔話を地元の方言の入った語りで聞かせてくれます。「とんと昔」ののぼり、語り手のもんぺ姿も効果的でとんと昔の世界にすぐに引き込まれます。

#### スプーンの会

毎年、1・2年生の児童に、絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。ペープサートやエプロンシアターなど様々な表現方法で子どもたちに読書の楽しさを伝えてくれます。



## 実践例 5：授業における読書指導の充実

### ① 読書活動を取り入れた主体的な学習の展開

国語科の学習では、扱う教材との出会いを大切に、そこから個の読書活動に広げる単元構成を考えることは、子どもの読書の幅を広げるためにも重要です。教科書で推薦している本を子どもたちに紹介できるように本を購入したり、市立図書館や県立図書館の協力を得て、子どもたちが関連書籍に触れるようにしたりしました。

全校朝会で5年生が椋鳩十の作品を紹介しています。グループで1つのお話のあらすじやおすすめポイントをスピーチしました。



| 学年 | 教材名       | 単元名                  | 工夫                                 |
|----|-----------|----------------------|------------------------------------|
| 2  | スイミー      | レオレオニの絵本を読もう         | 関連図書の読書カードを作り、レオレオニの世界に浸れるようにした。   |
| 4  | ごんぎつね     | 新美南吉の作品を読もう          | 市立図書館の本を教室に置き、環境づくりをした。            |
| 5  | 生き物は円柱形   | 説明文を読み、要旨をまとめよう      | 市立図書館の本で要旨をまとめ、紹介カードに清書し、内容を紹介した。  |
|    | 大造じいさんとガン | 椋鳩十の作品や動物が出てくる作品を読もう | 全校朝会の学年発表で本を紹介し、作った紹介カードを図書室に掲示した。 |
| 6  | カレーライス    | 重松清の作品を読もう           | 市立図書館や県立図書館の本を教室に置き、環境づくりをした。      |
|    | やまなし      | 宮沢賢治の作品を読もう          |                                    |
|    | 海の命       | 立松和平の作品を読もう          |                                    |

### ② 各教科における計画的な読書活動の取り入れ

国語科のみならず、その他の教科などにおいても、学んだことがらを生活と結び付けたり、新しい疑問や課題を解決したりするために進んで読書活動を行うことは、さらなる充実につながります。

#### 【社会科や理科での例】

3年生：「地図記号」の本

教科書に出てくる地図記号の他に、どのようなものがあるか調べる学習

4年生：「リサイクル」の本

教科書で学習したリサイクルのしくみをさらに詳しく調べる学習

5年生：「天気」の本

雲の種類や、天気に関することわざを調べる学習

6年生：「歴史」の本

縄文時代と弥生時代を比べる学習や歴史上の人物にスポットライトを当て、さらに詳しく調べる学習



4年生が天体の発展学習に取り組んでいます。月に関する自分の課題を一人ひとり決めて、その調べ学習を進めています。

## 実践例 6：学校図書館の整備

### ① 図書館環境の工夫

子どもたちの読書活動をより充実するには、足を運びたくなるような図書館環境を工夫することが大切です。



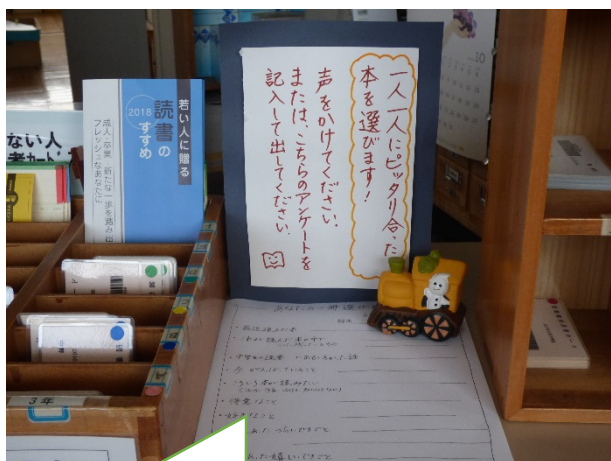
図書館に入ってすぐに目にとまる文庫本コーナー。明るい日差しが差し込む窓際に設置され、生徒の最初の動線になっています。

どの本を読もうか？中学校の昼休みは短い。消費者を惹きつけるための商業的なキャッチコピーであっても、本の帯は大事な情報源。映画のパンフレットや作品の講評など、視覚的に簡単に手に入る情報もさらに効果的。



### ② 学校司書と図書主任の連携

身近な友達からすすめられたり紹介されたりすること以外にも、先生方などの身近な人からもすすめられたり、紹介されたりすると、子どもは「面白そうだな、読んでみようかなあ」となるものです。教職員による活動も読書活動を充実させていくためには大切なことです。



誰もが明るい気持ちで本を選びたくなります。「声をかけてください」の心づかいが伝わる張り紙が嬉しい。

ビブリオ・バトル(本紹介ゲーム) 真っ最中！  
バトラーも参加者の目も真剣そのもの。さあ、誰がチャンピオンになる？



# ①【講座・教室・つどい等の開催】

図書館ボランティアによるよみきかせ（毎週土曜日）、  
日本語・英語よみきかせ（第3土曜日）、  
出張図書館～めんごりあで紙芝居～（第4土曜日）、  
子ども読書の日記念 子どもの折り紙講座、  
山形西高合唱団 そよ風コンサート、子育て支援（マタニティ）ブックスタート（市子ども読書活動推進事業）、よみきかせボランティア養成講座開催、夏のつどい、冬のつどい、春のつどい、とんと昔と影絵のつどい、折り紙講座～夏休み初級者編～、折り紙講座～中級編、夏休み子ども上映会（午前の部、午後の部2回上映）、布の絵本と遊具展、マスコット作り体験講座



# ②【「テーマ展示」の実施】季節に合わせてテーマを決めて司書が本を選びます。

「新たな一歩を踏み出した人に贈る読書のススメ」、「図書館でいい本みつけませんか?」、「父の日」にちなんだ本の展示、「キャリアスタートの中学生企画」、「夏休みの宿題おたすけ隊」、「太平洋戦争を知ろう」、「敬老の日におすすめする本」、「上山市政の一翼を担っている人の『心に残る1冊』」、「あなたが薦めるこの1冊～私の癒しの本」、「クリスマスを楽しむために」、「クリスマスラッピングブック」（プレゼント付）、「今年は亥年」～干支にちなんだ本あれこれ～」、「新入学に向けて」、「東日本大震災に関する展示」、「名作映画鑑賞会関連図書」

# ③【学校との連携】

市内学校児童の図書館体験、団体貸出

# ④ 図書館資料の充実

図書館資料の計画的・体系的な収集、寄贈図書も受け入れ、図書館資料の充実

・資料の現況（平成31年3月31日現在）

| 蔵書資料数（点）（登録資料数）        |              | 平成30年度受入数（点）                 |  |
|------------------------|--------------|------------------------------|--|
| 総                      | 数 165,329    | 受入数合計(遡及登録を含む) 5,363         |  |
| 内<br><br><br><br><br>訳 | 一般図書 117,378 | 購入 一般 2,286 児童 1,401 計 3,687 |  |
|                        | 児童図書 37,437  | 寄贈他 一般 604 児童 42 計 646       |  |
|                        | 紙芝居 564      | 購入 35 寄贈 0 計 35              |  |
|                        | 雑誌等 5,924    | 購入 770 寄贈他 35 計 805          |  |
|                        | C D 390      | 購入 6 寄贈他 5 計 11              |  |
|                        | D V D 960    | 購入 169 寄贈他 10 計 179          |  |
|                        | その他 2,676    | 購入 0 寄贈他 0 計 0               |  |

読書感想文（体験文等）・読書感想画コンクールの継続的な実施

# ⑤ 職員の研修の充実

県主催や県立図書館主催職員研修への参加、学校図書館司書との連携のため合同研修会の開催

⑥ 主催・共催事業の開催と文化団体の活動推進

読書活動推進ボランティア（個人・団体）によるよみきかせの実施、人材育成を推進するための  
ボランティア養成講座の開催

⑦ 他機関との連携事業

「めんごりあ」との連携、定期団体貸出（市内学校その他、あざみ学童、東地区公民館、「めんごりあ」、その他児童福祉施設等）



第2次上山市子ども読書活動推進協議会委員（敬称略）

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 加藤 久四郎 | 上山市立図書館協議会委員長（図書館関係） |
| 竹田 典克  | 上山市小中学校図書館担当会長（学校関係） |
| 會田 以久子 | 上山あい保育園長（幼稚園・保育園関係）  |
| 尾形 みち子 | スプーンの会代表（読み聞かせの会関係）  |
| 土田 有尚  | 市PTA連合協議会長（PTA関係）    |
| 佐藤 博子  | 上山児童館長（児童館関係）        |

<関係課（幹事）>

子ども子育て課

管理課

生涯学習課・市立図書館

学校教育課（事務局）